

シール

尾崎智隆

割引には割引のやりくちがある

プラスからマイナスを発生させる行為

それはビックバンに近い

半額が定義するのは煽動

九割引は暴動を指す

サイフを痛めても

ぼくらはきつと買うしかない

カラの器が彩るのは感情であった

感情に値段を付けてしまえば

それは定められたもの

カタチはないから

公正取引委員会も

アメリカも

ヨーロッパなんかも

なんびとも手をだせない禁忌

値段は政府なんかじゃなく

何人も自ら生み出すはずなのに

意志もなく、

ならこの貼られたモノはなにか

そもそも何で出来ている

完成済みかすら、知らされず

旬の時期が終わるのを待つのか

夏の次は秋というが
四季のある国は少ない
海辺に近ければ腐るのも早い
腐ったら土になる
土にはなんの意志もない

だからか
ぼくが今スーパーに立っているのは
蛍の光がみえて
店員がコッチにきた